

2008 年度夏学期 教育臨床心理学(担当:前田)期末試験問題

受験上の注意

1. 教科書、授業中の配布資料、ノート、携帯電話、電子辞書の持込みは一切不可とする。
2. 試験時間は90分である。
3. 解答する順は問題順でなくてもかまわないが、どの問題の解答かわかるように、解答する際には問題の番号を明記すること。
4. 解答用紙の追加は認められない、与えられた用紙の範囲内で解答すること。

【問題1】先月、東京・秋葉原で起きた無差別殺傷事件は、下記のような被疑者の特徴からみて典型的な自己確認型犯罪者であると考えられる。このことについて、下記の容疑者の特徴をすべて引用して論述せよ。

容疑者は幼少期からいわゆる「できがよい子」で小学校・中学校で学力は優秀、県内No. 1の進学校に入学。高校からは学業不振が続く。それを「親が息切れしたから（自分の勉強を教えられなくなったから）」といって親の責任にする。インターネットの掲示板で無差別殺傷事件を起こすことを予告している。自分の住むところ（静岡県裾野市）ではなく、東京・秋葉原で事件を起こしている。

【問題2】日ごろの厳しい稽古によって心身ともに強靱であるはずの大相撲のある力士が、重大な過失によって相撲協会から厳重な注意とともに出場停止の処分を受けたことによって、心身の不調を訴え解離性障害と診断された。このことについて、

- (1) 解離性障害とはどのようなものか述べて。
- (2) また、この力士が解離性障害に至った心理的メカニズムについて、防衛機制の心

理と関連させて説明せよ。なお、解答には防衛機制の具体的・日常的な例を必ず含むこと。

【問題3】人は自尊感情を高めようとして(低下するのを防ごうとして)、無自覚的・無意識的に「あの手この手」を使っている。この「あの手この手」の心理について次の各問いに答えよ。

[問1] 栄光浴についてバランス理論を用いて説明せよ。

[問2] 内集団的態度について社会的アイデンティティ理論を用いて説明せよ。

【問題4】生後1～2年の乳幼児期の経験がその後の性格形成にとって極めて重要であることを、次の()内の語句をすべて用いて説明せよ。なお、()内の語句を用いた箇所は、初出に限りアンダーラインを付して示すこと。

(愛着行動 内的ワーキングモデル 積極性 生理的早産 自己評価 就巢性 離巢性)

【問題5】大きな失敗をしたり、連続して失敗をしたりすると、落ち込む、気分が沈む、憂うつになるなどの抑うつ感情をだれもが感じる。しかし、それが高じて抑うつ状態やうつ病にまでなるかという、そのようになる人もいなければならない人もいる。このことを素因ストレスモデルという考え方から論述せよ。